

調査委員会における調査研究報告書

教科名（数学）

No.1

調査研究の観点	所 見		
	発行者（東京書籍） 発行者番号（2）	発行者（大日本図書） 発行者番号（4）	発行者（学校図書） 発行者番号（11）
1 内容	<p>①各学年とも巻頭の目次で既習事項との関連が記載されている。</p> <p>②「学び合いのページ」で話し合い活動について、「数学マイノート」でノートの記入の仕方について記載されている。</p> <p>③各章とも章末問題AとBがあり、Bで発展的な問題に触れている。また、「活用の問題」、「数学のまど」があり、身近な事柄と関連した問題や他教科と関連した問題が記載されている。</p> <p>④西多摩郡に関する内容はない。</p>	<p>①各学年とも巻頭の目次で、既習事項との関連が記載されている。</p> <p>②「ノートの作り方」でノートの記入の仕方が記載されている。</p> <p>③練習問題がA問題とB問題に分かれていて「いろいろな問題」「挑戦しよう」で発展的な内容に触れている。また、「社会にリンク」で一般社会における数学との関連事項について紹介されている。</p> <p>④西多摩郡に関する内容はない。</p>	<p>①各学年とも各分野の先頭で、既習事項との関連が記載されている。</p> <p>②「ノートの使い方」でノートの記入の仕方が記載されている。</p> <p>③章末の問題のほかに、各章に「計算力を高めよう」で多くの計算問題が記載されている。また「まとめの問題」の中で、基本と応用のほかに活用の問題がある。</p> <p>④西多摩郡に関する内容はない。</p>
2 構成・分量	<p>①連立方程式で加減法、代入法の順で掲載されている。</p> <p>②資料の活用において、度数分布、代表値、近似値の順で掲載されている。</p> <p>③「数と式」が全体の38%を占めている。</p> <p>④「関数」が全体の17%を占めている。</p> <p>⑤「図形」が全体の35%を占めている。</p> <p>⑥「資料の活用」が全体の9%を占めている。</p>	<p>①連立方程式で代入法、加減法の順で掲載されている。</p> <p>②資料の活用において、近似値、度数分布、代表値の順で記載されている。</p> <p>③「数と式」が全体の38%を占めている。</p> <p>④「関数」が全体の16%を占めている。</p> <p>⑤「図形」が全体の36%を占めている。</p> <p>⑥「資料の活用」が全体の10%を占めている。</p>	<p>①連立方程式で加減法、代入法の順で掲載されている。</p> <p>②資料の活用において、代表値、度数分布、近似値の順で記載されている。</p> <p>③「数と式」が全体の39%を占めている。</p> <p>④「関数」が全体の17%を占めている。</p> <p>⑤「図形」が全体の34%を占めている。</p> <p>⑥「資料の活用」が全体の10%を占めている。</p>
3 表記・表現	<p>①各項目において、具体的な例に関して、実物の写真を使用するなど配慮がなされている。</p> <p>②資料の活用において、最大値と最小値の差について範囲とレンジという2つの表記を行っている。また、度数の折れ線グラフを、度数分布折れ線という表記のみを行っている。</p> <p>③表紙に数学の英語表記「Mathematics」があり、外国籍の生徒にも配慮されている。</p>	<p>①各項目において、具体的な例に関して、イラストを使用するなど配慮がなされている。</p> <p>②資料の活用において、最大値と最小値の差について範囲という表記のみを行っている。また、度数の折れ線グラフを、度数分布多角形とし、度数分布折れ線ともいうと表記している。</p> <p>③表紙に数学の英語表記「Mathematics」があり、外国籍の生徒にも配慮されている。</p>	<p>①各項目において、具体的な例に関して、イラストを使用するなど配慮がなされている。</p> <p>②資料の活用において、最大値と最小値の差について範囲とレンジという2つの表記を行っている。また、度数の折れ線グラフについては、度数分布折れ線と度数分布多角形という2つの表記を行っている。</p> <p>③表紙に数学の英語表記「Mathematics」があり、外国籍の生徒にも配慮されている。</p>
4 使用上の便宜	<p>①アドバイスが必要な場面においては、マスコットキャラクターの吹き出しを使ってアドバイスを入れる等の配慮がなされている。</p> <p>②欄外に適宜振り返りを設け、復習できるように配慮されている。</p> <p>③ページの隅にパラパラアニメーションがあり、図形の動きなどを分かりやすくする配慮がある。</p>	<p>①アドバイスが必要な場面においては、教科書登場人物の吹き出しを使ってアドバイスを入れる等の配慮がなされている。</p> <p>②欄外に適宜振り返りを設け、復習できるように配慮されている。</p>	<p>①アドバイスが必要な場面においては、教科書登場人物の吹き出しを使ってアドバイスを入れる等の配慮がなされている。</p> <p>②欄外に適宜振り返りを設け、復習できるように配慮されている。</p> <p>③ページの隅にパラパラアニメーションがあり、図形の動きなどを分かりやすくする配慮がある。</p>

調査委員会における調査研究報告書

教科名（数学）

No.2

調査研究の観点	所 見		
	発行者（教育出版） 発行者番号（17）	発行者（新興出版社啓林館） 発行者番号（61）	発行者（数研出版） 発行者番号（104）
1 内 容	<p>①第1学年の巻末に小学校で学習した内容が「小学算数のまとめ」として記載されている。また、各項に「ここで学ぶこと」という表記があり、生徒が主体的に学べるよう配慮されている。</p> <p>②各学年とも巻頭で、ノートの作り方や既習事項の確認がある。</p> <p>③各単元の多くの節の終わりに「基本のたしかめ」があり、基本的な学習内容を確認する問題が掲載され、章末の「章の問題」で発展的な内容に触れている。また、繰り返し練習できるように「練習問題」がある。</p> <p>④西多摩郡に関する内容はない。</p>	<p>①各学年とも巻頭で話し合い活動のポイントが記載されている。</p> <p>②各学年とも巻頭でノートのとり方について紹介している。</p> <p>③各学年で「基本のたしかめ」があり、基本的な学習内容の確認ができ、「章末問題」で発展的な内容に触れている。また、一般社会における数学の利用について触れた別冊がある。</p> <p>④西多摩郡に関する内容はない</p>	<p>①各学年とも巻頭で話し合い活動のポイントが書いてある。</p> <p>②各学年とも巻頭にノートのとり方の工夫した例があり、さらに既習事項の確認がある。</p> <p>③各単元で「学習のまとめ」「基本のたしかめ」があり、基本的な学習内容をまとめ、「章の問題」で発展的な内容に触れている。また、繰り返し練習できるように「練習問題」がある。</p> <p>④西多摩郡に関する内容はない。</p>
2 構成・分量	<p>①連立方程式で加減法、代入法の順で掲載されている。</p> <p>②資料の活用において、度数分布、代表値、近似値の順で記載されている。</p> <p>③「数と式」が全体の39%を占めている。</p> <p>④「関数」が全体の16%を占めている。</p> <p>⑤「図形」が全体の36%を占めている。</p> <p>⑥「資料の活用」が全体の9%を占めている。</p>	<p>①連立方程式で加減法、代入法の順で掲載されている。</p> <p>②資料の活用において、度数分布、代表値、近似値の順で記載されている。</p> <p>③「数と式」が全体の37%を占めている。</p> <p>④「関数」が全体の17%を占めている。</p> <p>⑤「図形」が全体の36%を占めている。</p> <p>⑥「資料の活用」が全体の10%を占めている。</p>	<p>①連立方程式で加減法、代入法の順で掲載されている。</p> <p>②資料の活用において、度数分布、代表値、近似値の順で記載されている。</p> <p>③「数と式」が全体の39%を占めている。</p> <p>④「関数」が全体の16%を占めている。</p> <p>⑤「図形」が全体の36%を占めている。</p> <p>⑥「資料の活用」が全体の9%を占めている。</p>
3 表記・表現	<p>①各項目において、具体的な例に関して、イラストを使用するなど配慮がなされている。</p> <p>②資料の活用において、最大値と最小値の差について範囲という表記のみ行っている。また、度数の折れ線グラフを、度数分布折れ線という表記のみ行っている。</p> <p>③索引に項目の英語表記があり、外国籍の生徒にも配慮されている。</p>	<p>①各項目において、具体的な例に関して、イラストを使用するなど配慮がなされている。</p> <p>②資料の活用において、最大値と最小値の差について範囲とレンジという2つの表記を行っている。また、度数の折れ線グラフを、度数分布多角形とし、度数分布折れ線ともいうと表記している。</p> <p>③表紙に数学の英語の略表記「Math」があり、外国籍の生徒にも多少配慮されている。</p>	<p>①各項目において、具体的な例に関して、実物の写真を使用するなど配慮がなされている。</p> <p>②資料の活用において、最大値と最小値の差について範囲という表記のみ行っている。また、度数の折れ線グラフを、度数分布折れ線とし、度数分布多角形ともいうと表記している。</p> <p>③表紙図の中に数学の英語表記「Mathematics」があり、外国籍の生徒にも配慮されている。</p>
4 使用上の便宜	<p>①アドバイスが必要な場面においては、マスコットキャラクターの吹き出しを使ってアドバイスを入れる等の配慮がなされている。</p> <p>②欄外に適宜振り返りを設け、復習できるように配慮されている。</p>	<p>①アドバイスが必要な場面においては、マスコットキャラクターの吹き出しを使ってアドバイスを入れる等の配慮がなされている。</p> <p>②欄外に適宜振り返りを設け、復習できるように配慮されている。</p>	<p>①アドバイスが必要な場面においては、マスコットキャラクターの吹き出しを使ってアドバイスを入れる等の配慮がなされている。</p> <p>②欄外に適宜振り返りを設け、復習できるように配慮されている。</p>

調査委員会における調査研究報告書

教科名（数学）

No.3

調査研究の観点	所 見		
	発行者（日本文教出版） 発行者番号（116）	発行者（ ） 発行者番号（ ）	発行者（ ） 発行者番号（ ）
1 内容	①各学年とも巻頭で「数学の学習で大切なこと」として、学習の仕方と話し合い活動のポイントが記載されている。 ②各学年とも巻頭で「ノートの工夫」があり、目次には各章と既習事項の関連が記載されている。 ③各章末に「基本の問題」「くり返し練習」「章のたしかめ」「とりくんでみよう」と問題が多くあり、「生活への利用」や「深める数学」で発展的な内容を取り扱っている。 ④西多摩郡に関する内容は無い。	/	/
2 構成・分量	①連立方程式で加減法、代入法の順で掲載されている。 ②資料の活用において、度数分布、代表値、近似値の順で掲載されている。 ③「数と式」が全体の39%を占めている。 ④「関数」が全体の18%を占めている。 ⑤「図形」が全体の33%を占めている。 ⑥「資料の活用」が全体の9%を占めている。	/	/
3 表記・表現	①各項目において、具体的な例に関して、イラストを使用するなど配慮がなされている。 ②資料の活用において、最大値と最小値の差について範囲という表記のみ行っている。また、度数の折れ線グラフを、度数分布多角形という表記のみ行っている。	/	/
4 使用上の便宜	①アドバイスが必要な場面においては、マスコットキャラクターの吹き出しを使ってアドバイスを入れる等の配慮がなされている。 ②欄外に適宜振り返りを設け、復習できるように配慮されている。	/	/